

第二次不老川生活排水 対策推進計画について 意見を募集します

市では、不老川の浄化を推進するため、不老川生活排水対策推進計画の案に対する意見を募集します。頂いた意見を参考にして、第二次不老川生活排水対策推進計画を策定します。

募集期間：12月15日(金)～1月15日(月)

対象：市内在住・在勤・在学、または市の事務事業に利害関係のある方

閲覧場所：環境保全課（本庁舎五階）・出張所・公民館

*市のホームページでも、閲覧できます。

提出方法：住所・氏名・電話番号を明記し、〒350-

8601川越市役所環境保全課（ファクス可）

*市のホームページからも、提出できます。

意見の取り扱い

提出いただいた意見は、今後の計画策定の参考にします。また、意見に対する考え方と、案を修正した場合の内容を公表します。類似の意見は取りまとめて公表し、個別の回答は行いません。また、個人情報公表しません。

問い合わせ：環境保全課水質

保全係・TEL内線2624
FAX225-9800

償却資産の申告を お願いいたします

償却資産の申告

個人や法人で、商店・工場・アパート・駐車場などを経営している方は、平成十九年度の償却資産の申告をお願いします。

償却資産とは、事業のために用いる機械・器具・備品などの事業用資産（土地・家屋・借入れ資産を除く）のことで、固定資産税の対象になります。

償却資産の所有者は、毎年一月一日現在の所有状況について、その種類・名称・取得年月・取得価額・耐用年数などを、その資産の所在する市町村長に申告する必要があります。

また、申告書の代わりにハガキが届いた方で、平成十八年中に資産が増加または減少した場合にも、申告が必要になります。

申告期限・場所：1月31日(水)までに資産税課（本庁舎二階）

問い合わせ：資産税課管理係・TEL内線2363

年末年始は水に注意

下水道排水に気を付けましょう

ごみや料理の油を下水に流すと、下水管の詰まりや悪臭、処理場の微生物を弱らせることにつながります。また、灯油やガソリンを流すと、異臭騒ぎや爆発を起こす危険性があります。みんなで下水道を快適に使うため、次の事を心がけましょう。

- 排水口には網などを付け、調理くずやごみを流さないようにする
- 調理の際、油は使い切る
- 食器に残った油污は、ふき取ってから洗う
- 洗濯の際、必要以上に洗剤を使わない
- 灯油や、ガソリンなど揮発性の高い油を流さない

問い合わせ…下水維持課排水指導係・TEL 239-5595

水質事故未然防止にご協力を

機械などを取り扱う際の不注意や施設の老朽化などで油類が流出すると、河川や池沼を汚染する事故につながります。特に、年末年始は大掃除や施設の再始動により、汚水・廃油の流出事故が発生しやすくなります。事業所の皆さんは、次の事に注意してください。

- 施設の運転停止・始動時のバルブ・スイッチ類の点検確認を行う
 - 溶剤・油類・酸・アルカリ溶液など、廃棄物の処理・処分を適正に行う
- *事故が発生したら、速やかに応急措置を取り、直ちに環境保全課まで連絡してください。

問い合わせ…環境保全課水質保全係・TEL内線2625

～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

- 平成18年工業統計調査にご協力ください 情報統計課統計係・TEL内線2264
12月31日(日)を基準日として、全国一斉に行われます。結果は、国や都道府県の施策立案の基礎資料となります。調査内容は統計を作る目的にだけ用いられます。12月中旬から1月中旬にかけて、県知事が任命した調査員が対象事業所を訪問し、調査票を配布・回収します。
- 家庭用・業務用生ごみ処理機の購入費を補助します 環境業務課減量リサイクル推進係・TEL内線2636
家庭用（コンポスト容器・EM容器・電気式生ごみ処理機）・業務用生ごみ処理機の購入費を補助します。基数に限りがあります。詳しくは、お尋ねください。
- お酒は適量を守りましょう 総合保健センター健康増進係・TEL229-4121
お酒は適量（日本酒なら1日1合、ビールなら中瓶1本）を守り、週に2日は休肝日にしましょう。
- 訂正 広報川越No1139・26ページ けんこう
第3回川越市口腔ケア研修会の講師名 誤＝清水良明さん 正＝清水良昭さん。ご迷惑をおかけしました。



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を
紹介するコーナーです

あて先 〓〒350-8601 川越市役所広聴広報課「デュエット係」
〓〒350-2171 〓Eメール 〓info@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

この時期になりますと、我が家の庭にたくさん
の蕾を付け、次から次へと咲き出すさざんかの花。

下小坂地区に新築移住し、何もない庭に市から無料配布された「さざんかの苗木」。狭い庭のため切枝されつつ毎年裏切ることなく多数の濃いピンクの花をプレゼントして

くれます。

我が家の新築記念樹となり、今年も見事に花を咲かせてくれましたので、初めて写真におさめてみました。ぜひ見ていただきたくお送りさせていただきます。

改めて無料配布していただいた事に感謝致しております。有難うございました。

(一部省略)



■ 広報川越から
齊藤澄子 (下小坂)

写真をカラーで見せることができないのが残念です。苗木の配布をしている環境政策課は、「苗木プレゼント事業は、昭和五十八年から開始し、ことしで二十四年目を迎えました。これまでに配布した苗木の数は、六万一千本余りとなっております。齊藤さんのように、配布した苗木を大事に

育てていただいている方には深く感謝申し上げます。これからも一年でも長く育てただけを願っております」。これからも花がたくさん咲くよう、大切にお育てください。
◎ ◎ ◎
*ふりがなは、広聴広報課で付けました。

市長通信

第5号



知恵のまちづくり倉敷大会に参加しました

全国の観光や景観における「知恵のまちづくり全国都市フォーラム」が10月3日に倉敷市で開催され、パネリストとして参加してまいりました。

小樽市・函館市・金沢市・熱海市・彦根市・倉敷市・尾道市・川越市の8市で構成されているこのフォーラムは、ことしで5回目になります。今回は、「美しいまちづくり国づくり ～魅せる都市景観について考える～」と題して開催され、私のほか、倉敷市長、小樽市長、彦根市長、尾道市長が参加しました。

どの市も歴史的な町並みを資源に、多くの観光客を集めている景観都市として、景観への取り組みや抱えている課題が報告されました。私も電線地中化事業などの景観整備や、町並み保存の状況を報告しました。それとともに、盛大な川越まつりの様子や自然・味覚を含めた川越の魅力を、存分に紹介してまいりました。最後は倉敷市民の皆さんから、川越にいらしたときの感想を拝聴する場面があり、川越は全国的に、一度は訪れてみたいまちになっているのだと強く感じました。

また、まちづくりにおいては、市民の皆さんの理解と協力が不可欠だという意見が多く、私はそれに、「ただ景観保全の必要性を訴えるだけでなく、経済的効果を考慮した取り組みが必要である」と付け加えました。多くの皆さんに注目していただくことで、まちの価値が上がり、実際に来ていただくことで経済は潤うと考えております。これからも、川越らしいまちづくりを進め、観光客1,000万人を目指してまいりますので、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

川越市長 舟橋功一